

立教大、「シニア大学」開設

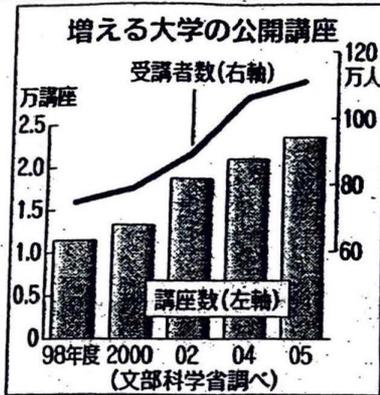
来春、団塊向け本格講座

立教大学は来年度から、団塊世代向けにビジネスなどを学べる専門講座を開設する。ゼミに参加したり、履修書にも書き込める「履修証明」を出したりと、最長二年間受講できる本格的な講座とする。大学紛争などで満足なキャンパスライフを送ることができなかった団塊世代に、お金や時間に余裕のできた定年後を豊かに迎えてもらうための狙いだ。

隆氏ら外部からも起用するほか、立教大の専任教員も講義を受け持つ。短期間のオープンカレッジや市民講座と異なり、全員参加のゼミも設定する。一般の学生に交じって、正規の学部授業を受けることもできる。

受講は一年間の「本科」が基本だが、さらに専門的に学びたい人向けにも一年間の「専攻科」も用意。仕事を続けている人も受けられるよう、講義は夜間や土曜日にも実施する。

文部科学省は大学の公開講座など、講義時間数など一定の条件を満たせば法的な「履修証明書」を発行できるようにする。法改正を予定している。立教大はセカンドステップ大の修了者に、この証明書を出す方針。



こうしたシニア層などを対象とした大学の公開形式の講座は年々増加している。少子化で学生の確保が難しくなる一方、シニアを巡る大学間の競争も激しくなりそうだ。名称は「立教セカンドステージ大学」。二〇〇八年四月から東京都豊島区の立教大池袋キャンパス内に開設する。高齢化

社会や、地域コミュニケーションの課題などについて好きな講義を選んで受講する。講師は評論家の立花

〇八年四月一日時点で満五十歳以上の人が対象。高卒程度以上の学力を基準に、書類審査と面接で選考する。募集定員は本科七十人、専攻科二十人。学費は入金金八万円、授業料二十三万円など計三十三万円。十二月上旬から募集を始め、来年二月下旬に書類審査・面接を実施する。